

課目名	衛生管理 I						
課目名(英)	Hygiene management 1						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	江藤登志美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	サロンに美容師として勤務		
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	美容業界を目指す専門生として実社会における衛生知識の向上と啓発を図ることを目的とする。 学習意欲を高め規律ある授業態度の確立を行うと共に美容師として必要な公衆衛生、環境衛生に関する基礎を習得させ 国家試験合格を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				衛生に関する歴史上の人物と業績について3人以上説明する事ができる。	
	○	○				保健所の役割と美容室への関係性についての説明ができる。	
	○	○				母子・高齢者・精神保健についての説明ができる。	
	○	○				環境衛生と美容師の関わりについての説明ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・日本理容美容教育センター 出版:衛生管理 ・日本理容美容教育センター出版:ワークブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1編 1章 衛生管理の概要…公衆衛生の定義				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	1編 1章 衛生管理の概要…美容師と公衆衛生との関わり				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	2章保健…保健所の機能と事業				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	2章保健…美容師と公衆衛生との関わり				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	2章保健…保健についての基礎知識				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	2編 1章 環境衛生…公衆衛生水準に関する指標				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	1章 環境衛生…老人の保健と福祉				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	1章 環境衛生…人を取り巻く環境要因や環境				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	1章 環境衛生…環境に対する人の適応性				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	1章 環境衛生…健康的な環境をつくる目的				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	1章 環境衛生…自然環境要因の理解(空気)				配布したプリント・教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	1章 環境衛生…自然環境要因の理解(温熱、水)				配布したプリント・教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	公衆衛生復習問題…公衆衛生全般について				配布したプリント・教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	環境衛生復習問題…環境「衛生全般について				配布したプリント・教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	期末試験 解答 解説 / 3篇 感染症				期末試験問題用紙を事前に確認していくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				80%
	小テスト	○	○				10%
	宿題・レポート				○		10%
履修上の注意	毎回の授業でプリントを配布するためファイルに保管する。						

課目名	保健1						
課目名(英)	health cosmetology I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	齊田 順子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	看護師として勤務・研修講師		
対象学科・学年	美容科1年生						
授業概要	人体の構造及び皮膚科学に関する知識が美容の仕事に、また個人の健康管理の意識を高める事にも活かされるように学習する。国家試験合格に必要な知識を習得し、美容師として顧客の健康状態にも配慮でき、社会貢献できるようになることを目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				美容技術の基礎となる人体組織について学び、人体の構造と機能について説明ができる。	
		○				皮膚、毛髪などに関する科学的知識を理解し、美容の仕事に応用できる。	
	○	○				「人体の構造と機能」及び「皮膚科学」について口頭で質問した場合正確に説明ができる。	
		○		○		顧客や個人の心身の健康状態に配慮する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・保健(公益社団法人 日本理容美容教育センター) ・ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版) ・配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1編1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	2	1編2章 骨格器系…骨の種類と構造、骨格器系とそのはたらき				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	3	1編3章 筋系…種類と特徴、骨格筋、表情筋、筋疲労				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	4	1編4章 神経系…神経系の成り立ち、中枢神経系、末梢神経系				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	5	1編5章 感覚器系…視覚、聴覚、平衡感覚など				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	6	1編6章 血液・循環器系…経路、心臓、リンパ管系の仕組み				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	7	1編7章 呼吸器系…気道、ガス交換、呼吸運動				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	8	1編8章 消化器系…仕組みとはたらき、代謝				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	9	2編1章 皮膚の構造…表皮、真皮、皮下組織				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	10	2編2章 皮膚付属器官の構造…毛、脂腺、汗腺、爪				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	11	2編3章 皮膚の循環器系と神経系…皮膚の血管、リンパ管など				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	12	2編4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	13	2編5章 皮膚と皮膚付属器官の保健				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	14	2編6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患				教科書の該当範囲を読んでおく・プリントの整理	
	15	期末テストに向けて				小テストや期末テスト対策のプリントを復習しておくこと	
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題・レポートを1回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。(4)授業態度(取り組む姿勢)。以上を下記の観点・割合で評価する。成績基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				80%
	小テスト	○	◎				10%
	宿題・レポート				◎		10%
履修上の注意	・毎講義においてプリントを配布するので必ずファイルに整理、保管すること。 ・出席が10回未満の場合は定期試験を受験できない。(補講終了の場合は除く)						

課目名	香粧品化学 I							
課目名(英)	Cosmetic Chemistry I							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	高橋 龍、中川 貴彦			
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	学習塾講師担当			
対象学科・学年	美容科 1年							
授業概要	香粧品(化粧品と医薬部外品)の化学成分がどのようなはたらきを持つのかを学習する。また、取り扱いに注意が必要な香粧品(たとえば「混ぜるな危険」と書いてあるものなど)がどのように危険なのかも学習する。							
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					香粧品の役割と作用や、作用先の皮膚・毛髪について、化学的に説明することができる。		
		○				香粧品の特性を知った上で、注意が必要な香粧品の使い方を説明することができる。		
				○		香粧品化学を学ぶ必要性を認識した上で、積極的に授業に参加することができる。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・香粧品科学 教科書 ・授業プリント(各回の授業最初に配布) 							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	香粧品概論－ 香粧品化学が課せられている意義、授業計画、評価方法・基準					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	2	香粧品原料－ 香粧品の対象となる人体各部の性状					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	3	水性原料－ 水・エタノール					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	4	油性原料－ 油脂・ロウ類・炭化水素・その他の油性原料・油性原料の機能					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	5	界面活性剤－ 界面活性剤の基本的性質・界面活性剤の種類・界面活性剤の香粧品への応用					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	6	高分子化合物－ 高分子化合物の種類と特性・高分子化合物の香粧品への応用					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	7	色材－ 色材と香粧品・無機顔料・有機合成色素・光輝性顔料・天然色素					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	8	香料－ 香料と香粧品・香料の種類・調合香料					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	9	配合成分－ 香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分香粧品配合成分があたる機能					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	10	基礎香粧品－ 皮膚洗浄用香粧品・化粧水・クリーム・乳液・その他の基礎化粧品					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	11	毛髪用香粧品－ シャンプー剤・スタイリング剤・パーマ剤・育毛剤					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	12	染毛料・染毛剤－ ヘアカラー製品					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	13	香水・特殊香粧品－ 芳香製品・特殊香粧品					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	14	基礎化学－ 物質の構成・物質(水)の構造・溶解とコロイド・イオンと水素イオン指・物質の変化と化学反応・酸化・還元反応					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
	15	タンパク質					教科書の該当範囲を授業前・授業後に読むこと	
評価方法	(1)定期試験(選択肢式・筆記試験)(2)プリントの提出(3)授業中の態度の3つにより評価を行う。 (3)授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				80%	
	宿題・レポート・提出物	○	○				10%	
	授業態度				○		10%	
履修上の注意	試験は授業内容からの出題となる。授業で配布するプリントが試験範囲そのものとなる。試験では国家試験を前提とし、語句などの知識問題、そして国家試験のように文章を読んで正誤を判断する問題などを多く扱う。							

課目名	ヘアテクニック(ヘアカラー)						
課目名(英)	HAIR TECHNIQUES (HAIR COLOR)						
単位数	6単位	時間数	180時間中の15時間	担当者	遠藤・糸山・山口・武田		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	担当者実務経験	美容師として4年以上勤務		
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	ヘアカラーの塗布、ホイルワークの仕方やスタンスなどの基本の技術を身に付け、就職後の即戦力になるよう、実習を交えながら習得する。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			自らカラー商材、テクニックを選び、2つ以上のデザインを使って施術することができる。	
		○				毛髪の種類と特徴を踏まえ、施術内容を説明する事ができる。	
		○				染毛剤の種類と特徴を踏まえ、髪の状態で判断し施術を提案することができる。	
		○				助言がなくてもモデルの髪質に合わせた、ダメージに合わせたデザインを提案できる。	
テキスト・教材 参考図書	・日本理容美容教育センター出版 美容技術理論1 ・ロレアルカラーテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	酸化染毛剤①・・・ヘアカラーリング概論				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	酸化染毛剤②・・・酸性染毛料の知識・塗布練習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	酸化染毛剤③・・・ホイルワークテクニック				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	ヘアカラー理論				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	ヘアカラー企画書作成				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	相モデルカラー実習に向け練習・・・トレーニングクリームでの練習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	相モデルカラー実習に向け練習・・・相モデルに向けた準備				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	相モデルカラー実習に向け練習・・・相モデルでのブリーチ実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	相モデルヘアカラー・・・相モデルでのアルカリカラー実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	相モデルヘアカラー・・・相モデルでの酸性カラー実習				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
評価方法	(1)作品発表と宿題レポート提出を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		○		○		10%
	発表・作品			○			90%
履修上の注意	カラー剤の使用上の注意に従い、実習では施術を実施を行う事。						

課目名	ヘアテクニック(ヘアセット&着付け)						
課目名(英)							
単位数	6単位	時間数	「30時間」/「180時間」	担当者	中川 佳代子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	美容師歴20年		
対象学科・学年	美容科 1年生						
授業概要	黒留袖着付けに関する、基礎知識と基礎技術を習得する ヘアアレンジに関する基礎知識と基礎技術を習得する						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					着付けに必要な道具の名称、使い方の説明ができる	
			○			着付けの基礎技術を実施できるようになる	
			○	○		基礎技術の組み合わせで、黒留袖を着付けることができる	
	○					ヘアアレンジに必要な道具の名称、使い方の説明ができる	
			○			ヘアアレンジの基礎技術を実施できるようになる	
		○	○			基礎技術の組み合わせで、ヘアスタイルを作ることができる	
テキスト・教材 参考図書	日本理美容教育センター 美容技術理論Ⅱ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	道具の名称・着付準備 - 道具の名称、着物各部の名称、着物・帯の種類、着付準備の仕方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	道具の名称・着付準備 - 着物・長襦袢のたたみ方、着物・長襦袢の片付け方、補正の仕方、長襦袢の着付け			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	黒留袖着付け - 黒留袖着付け			前回の復習をしておくこと		
	4	黒留袖着付け - 黒留袖着付け			前回の復習をしておくこと		
	5	黒留袖着付け - 帯の結び方			前回の復習をしておくこと		
	6	黒留袖着付け - 帯の結び方			前回の復習をしておくこと		
	7	黒留袖着付け - 復習			前回の復習をしておくこと		
	8	黒留袖着付け - 復習			前回の復習をしておくこと		
	9	実技テスト(黒留袖着付け)			実技テストの連絡をしておくこと		
	10	実技テスト(着物・長襦袢のたたみ方)、筆記テスト			実技テストの連絡をしておくこと		
	11	道具の説明・使い方 - ビン・ブラシ類の説明、ホットカーラーの巻き方、一束結び、ビンの止め方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	道具の説明・使い方 - フォワードスパイラルカール、ローブ編み、編み込み(表・裏)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	簡単ヘアアレンジ - 復習と応用			前回の復習をしておくこと		
	14	簡単ヘアアレンジ - 復習と応用			前回の復習をしておくこと		
	15	実技テスト			実技テストの連絡をしておくこと		
評価方法	(1)定期テスト(実技・筆記)を各50点満点で実施し、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			◎	◎		50%
	小テスト	◎			◎		50%
履修上の注意							

課目名	ビューティースキル(メイクアップ)						
課目名(英)	Makeup						
単位数	5単位	時間数	60/150	担当者	重松 愛子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	雑誌、広告関係、ファッションショー バックステージ現場経験		
対象学科・学年	美容科 1年						
授業概要	サロンワークの中で美容のプロとして、お客様に不快感を与えないように机上が整えられ、常に清潔な道具を並べる事ができ、お客様の要望にこたえる為に必要な基礎的技術、道具の名称、皮膚骨格の知識を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			机上が清潔で、綺麗に整えることができる。	
			○			基礎的な技術を実施することができる。	
			○			モデルに不快感を与えず、技術ができる。	
			○			セッティングから、フルメイクまでが実施できる。	
テキスト・教材 参考図書	シュウウエムラテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~2	教材配布				ネームペン、シール等持参する	
	3~4	メイクアップとはーシュウウエムラについて				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	5~6	スキンケア1ーモデルの扱い方				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	7~8	スキンケア2ーポイントクレンジング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	9~10	スキンケア3ーローション、クリームトーニング				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	11~12	スキンケア4ースキンケア復習				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	13~14	メイクアップ1ーメイクアップテクニク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	15~16	メイクアップ2ーベースメイク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	17~18	メイクアップ3ーフェイスパウダー				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	19~20	メイクアップ4ー実技小テスト				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	21~22	メイクアップ5ーアイメイク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	23~24	メイクアップ6ーアイブロー				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	25~26	メイクアップ7ーチーク				シュウウエムラテキストを読んでおく	
	27~28	メイクアップ8ーフルメイク復習				シュウウエムラテキストを読んでおく	
29~30	実技テスト				復習をしておく		
評価方法	(1)授業の中で実施した実技作品を確認する。(2)テキストが記入されているかを確認する。 (3)小テスト(実技)を1回実施する。(4)実技テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト			◎			70%
	作品・テキスト			○			30%
履修上の注意	特段の事情を除いて、授業は休まないでください。授業中の私語は、厳禁です。復習は必須です。						

課目名	デザイン(ファッション)						
課目名(英)	Fashioncodhineit						
単位数	3単位	時間数	「15時間」/「90時間」	担当者	タナベアキコ		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	ファッション講師歴30年OFFICE経営		
対象学科・学年	美容科1年次						
授業概要	現代の美容に欠かせないトータル美のうち、ファッションに関する基礎知識を学び、プロとしての視点を確立する						
授業形式		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ファッションを組み立てる上での重要な要素を応用できる	
	○	○				ファッションカラーコーディネートの基本を説明することが出来る	
		○				ファッションイメージの分類と的確なポイント把握が出来る	
	○					ファッション専門用語が説明出来、使い込ませる	
	○				○	オケイジョンズ(T.P.O)を踏まえて、提案できる	
テキスト・教材 参考図書	モードエモード						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	デザイン造形のセオリー			ファッション雑誌に目を通しておく		
	2	ファッションカラーコーディネートテクニック			ファッション雑誌に目を通しておく		
	3	ファッションイメージ(1)イメージの分類と説明			ファッション雑誌に目を通しておく		
	4	ファッションイメージ(2)イメージファイル作成			ファッション雑誌に目を通しておく		
	5	デザインの発想と企画デザイン画			ファッション雑誌に目を通しておく		
	6	ファッションの歴史(洋服の成り立ちと時代別の流行の特徴)			ライブラリーのファッションの歴史に目を通す		
	7	小物やディティールの名称			ファッション雑誌に目を通しておく		
	8	オケイジョンズ(T.P.O)			予習プリントを見ておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中でファイル形式作品を作る(2)デザイン画など作品を描く。 以上を下記の観点、割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート		○				10%
	発表・作品	○	○		○		90%
履修上の注意	多くのファッション雑誌や美容雑誌、映画、アニメ、美術鑑賞、広告、写真集、フラワーデザインなどを見て感性を高める努力をする又作りたい作品を創作するための技術力も磨く						